

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 「三重飯高の木」高耐震住宅

グループの名称 「三重飯高の木」高耐震家づくりの会

直近採択グループ番号 06-0443-0494

(グループ代表者)

代表者名	照井 修二	代表者印
代表者所属先	株式会社天然樹ホーム	
代表者所在地	三重県津市栄町2丁目312番地	
代表者電話番号	059-225-7227	

(グループ事務局)

事務局事業者名	株式会社天然樹ホーム	
事務局担当者名	前田 浩一	印
事務局郵便番号	514-0004	
事務局所在地	三重県津市栄町二丁目312番地	
事務局電話番号	059-225-7227	
事務局FAX	059-225-7228	
事務局担当者E-mail	k-maeda@tennenjyu.co.jp	



B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		7	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		7	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		3	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		3	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		13棟				
					1560㎡				
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		8棟				
					960㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	これまで長期優良住宅への取り組みが少ない施工業者や、受注が確実視されている施工業者へ優先的に配分する。								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 「三重飯高の木」高耐震住宅	(地域型住宅供給対象地域) 三重県全域、愛知県名古屋
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 「三重飯高の木」高耐震家づくりの会	(結成年) 2013 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0443-0494	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	東海、東南海地震の巨大地震を考慮した、軸組計算による耐震等級2以上の確保。また高温多湿であるこの地域で断熱等級4を確保し、それ以上の断熱性を高める素材を使用する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	東海、東南海地震の巨大地震を考慮し、管柱は三重県産の太さ4寸角、通し柱は太さ5寸角以上とし、床の構造合板の厚さは28mmの剛床とする。グループ内で指定する地域材の柱を90%以上、梁、桁には三重県認証材または合法木材を使用する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール		
④①～③の背景	本会の地域型住宅供給対象地域は、東海、東南海、南海の巨大地震が発生すると予想される地域である。また松阪市飯高地区は、昔から林業が主な産業で、良質な松と杉の人工林を保有する地域である。この地域の特性を生かそうとした事が背景にある。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	柱一本ごとに品質検査をし曲げ強度(ヤング係数)と含水率の数値を柱に印字し柱の高品質をアピールする。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 管柱は120角とし通しは下は120角または150角とする。主要構造材、主に梁桁の幅は120mm以上とする。モジュールは910mmあるいは1000mmとする。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 柱には三重県飯高地区の芯もち松または杉とし、産地証明書付とする。梁桁は三重県認証材または合法木材のいずれかを80%以上使用する。剛床の構造合板はJAS合板28mmとする。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 仕上げ材や建材については建築主の要望を反映し、建築地の気候風土に適した資材を採用する。	○
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 共同仕入れシステムを構築し積極的に採用し、コストダウンを図る。グループ内で構成員に対して、共同売買の情報発信を行う。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 材料発注時に無駄のないように積算、発注時のチェックをし無駄のない物流計画をした、物流のコスト削減とともにCO2排出量の低減を図る。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ内に生産性向上を図る委員会を設置し、各現場の問題、改善案を議論する。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務教区は温熱計算、構造計算や各種認定手続き、補助事業の交付申請作業、見積もり、積算、価格交渉、物流の最適化気密測定検査、実績報告などの建築の事務運営のサポートを経験、未経験を問わず工務店に要望がある場合はサポートを行う。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で施工マニュアルを確認して施工基準の徹底、意識の底上げを図る。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地盤調査を全棟実施し事務局に提出する。造作完了時に二度、第三者機関により気密測定を実施する。建物完成時にキスやウイ具合の事務教区により検査を実施する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各現場の積算書、見積書を施工者、事務局でダブルチェックし、その資料を事務局で保管する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の施工者、納材店、メーカーで協力業者会を開催し本グループの趣旨、取組みを発表し、周知する。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現在日曜日と隔週土曜日が休日になっており、今後週休2日制を導入する予定です。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現在2級建築士が4人いますが、技術者全員資格取得を奨励し、資格手当を支給	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 加入している、	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 効率的に作業を行い、無駄な残業を無くしている。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	合法木材の産地についてはその原木供給者を特定することは困難である。したがって、製材事業者・プレカット事業者は合法性を証明する事を条件とする。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 「三重飯高の木」高耐震住宅	(地域型住宅供給対象地域) 三重県全域、愛知県名古屋市
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 「三重飯高の木」高耐震家づくりの会	(結成年) 2013 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0443-0494	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局は本事業対象住宅の邸別アイルを作成し、管理を行う。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 住宅履歴情報サービス機関が運営するシステムを利用活用する。	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局は履歴情報を随時備蓄し、年度ごとに確認作業を行う。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 完成後、3か月→6か月→1年→2年→10年と定期的に訪問し、メンテナンスを行う。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ内でのメンテナンスガイドラインを作成し、項目に従って、補修を行う。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 定期点検のマニュアルを作成し、お引き渡し時にお施主様に説明する。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 毎月1回の家づくりセミナーを実施し、グループの方針を理解していただく。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ内の事業者とお施主様にて木工教室を開催し、無垢材の良さを体感してもらう。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 毎月1回の完成見学会を実施し、グループの方針を理解していただく。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 維持管理委員会を設けて、アフターメンテナンスのデータをまとめ検討しあう。	○	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局よりお施主様自身での維持管理意識の向上を図る取り組みをせかう。	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工構成員が基本一業種二業者以上の体制をとり、バックアップを充実させる。	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 瑕疵担保保険の長期保証と短期保証の項目の区分を確認できる勉強会の実施	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工事例の開催と工事施工マニュアルの作成をして注意点を話し合う研修会を開催する。	○
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工技術研修会を定期的に開催し、グループ内の技術力のハツキをなくす。	○
		②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局により建築現場の施工状況を定期的に訪問し確認する。
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 顧客のニーズをいち早くとらえ受注管理棟数の予測を行い、情報構成員と共有し予測を立てる。	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工技術研修会で学んだ事を実践し技術力アップを図り次世代の技術者の育成に力を入れる。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 新設備、新工法を積極的に学び取り入れ、常に新しいニーズにこたえる。	◎
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 16 今年度の参加目標人数 16
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 16 今年度の参加目標人数 16	○
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 省エネ技術講習会への参加をせかさ案内文を作成し、定期的に参加を呼び掛ける。	○
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ZEH住宅の要件を満たす設備機器・開口部断熱材等を積極的に提案し採用する。	○
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 新製品のセミナーや講習会に参加してグループ内に積極的に取り入れる。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。



1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 「三重飯高の木」高耐震住宅	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 三重県全域、愛知県名古屋市
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 「三重飯高の木」高耐震家づくりの会	<small>(結成年)</small> 2013 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0443-0494	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>パッシブ手法(自然の力を利用した省エネ手法)を用いて、建物自体の省エネ性能を上げる。                  他方のアクティブ手法(機械に頼る省エネ)は出来るだけ少なくする。                  断熱性能を高める三大要素、1、断熱性能 2、気密性能 3、遮熱性能 4、その他の向上を図って、                  建物全体の省エネ性能を上げる。</p> <p>1、断熱性能の向上                  a、高断熱材の使用                  b、高断熱サッシの使用</p> <p>2、気密性能の向上                  a、現場発泡ウレタン等の高気密断熱材の使用                  b、高気密テープの使用</p> <p>3、遮熱性能の向上                  a、屋根に遮熱透湿防水シートを使用する。                  b、外壁に遮熱透湿防水シートを使用する。</p> <p>4、その他                  a、夏期に通風の向上を図る計画設計</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。